

分類：基礎医学アドバンスコース

授業科目名：病理学Ⅱ（pathologyⅡ）

対象学年：2年次選択

時間割コード：71564007

開設学期等：第30週～第32週

単位数：1

1. 主任教員

後藤 明輝（教授、器官病態学講座、6062、オフィスアワー：基礎研究棟2階・水曜および木曜全日）

2. 担当教員

後藤 明輝（教授、器官病態学講座、6062、オフィスアワー：基礎研究棟2階・水曜および木曜全日）

吉田 誠（講師、器官病態学講座、6064、オフィスアワー：基礎研究棟2階・火曜および木曜全日）

馬越 通信（助教、器官病態学講座、6064、オフィスアワー：基礎研究棟2階・火曜および木曜全日）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. 目的 (GIO)

主要疾患で死亡した病理解剖例の臓器および組織標本を観察・考察し、疾患の病理像と死亡に至る過程を理解する。また、病理に関する英語論文を抄読し、病理組織標本作製を体験することにより、肉眼所見の取り方、切り出し、染色方法、組織所見のとり方といった病理学的方法論や考え方をより深く学ぶ。

2. 到達目標 (SBOs)

- 1) 症例の臨床経過を整理して説明することができる。
- 2) 病理解剖の目的と意義について説明できる。
- 3) 臓器肉眼所見と顕微鏡所見の相関を説明することができる。
- 4) 症例検討会で討議に加わることができる。
- 5) 組織標本の作製行程および染色方法を説明できる。

4. 教科書・参考書

標準病理学（医学書院）

組織病理アトラス（文光堂）

ステッドマン医学大辞典（メジカルビュー）

5. 成績評価の方法

グループ発表および提出レポートによる。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

月曜日:白衣持参のこと

積極的に授業に参加し、問題解決を図るよう心掛けること。そのために、授業内容についての予習や復習を行うこと。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	11月28日(月)	1-2時限	実習	テーマ：実習説明 症例の臨床経過を整理して説明できる。 臨床検査項目とそのデータの意味について説明できる。 患者の入院診療録から臨床上の問題点を列挙できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	5A 実習室
2	11月28日(月)	3-6時限	実習	テーマ：切り出し 臓器の肉眼所見について説明できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	基礎棟2階 共用室
3	11月28日(月)	7-10時限	自主学習	テーマ：自主学習 病理解剖の医療における位置づけと法的事項、手続きを説明できる。 医学における病理解剖の学術的重要性を理解する。 疾患の病態や疫学を理解する。 HE染色の方法を理解する。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	5A 実習室
4	11月29日(火)	1-10時限	実習	テーマ：薄切 組織標本の作製工程および染色方法を説明できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	基礎棟2階 染色室
5	11月30日(水)	1-4時限	実習	テーマ：染色 HE染色の方法を理解する。 組織標本の作製工程および染色方法を説明できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	基礎棟2階 染色室
6	11月30日(水)	5-10時限	実習	テーマ：検鏡 臓器の肉眼所見と組織所見の相関を説明できる。 病理解剖症例の標本から病態の把握、疾患の診断ができる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	5A 実習室
7	12月1日(木)	1-6時限	実習	テーマ：実習レポート作成 臨床経過と病理解剖標本を総合して最終的な死因を類推できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	5A 実習室
8	12月1日(木)	7-10時限	自主学習	テーマ：発表準備 臨床経過について問題点を整理して説明できる。 病理診断について肉眼所見と組織所見を整理して説明できる。 症例の病態を臨床情報、病理所見から考察できる。 死因について類推できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	5A 実習室
9	12月2日(金)	1-2時限	自主学習	テーマ：発表準備 臨床経過について問題点を整理して説明できる。 病理診断について肉眼所見と組織所見を整理して説明できる。 症例の病態を臨床情報、病理所見から考察できる。 死因について類推できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	5A 実習室
10	12月2日(金)	3-10時限	全体討議	テーマ：発表-症例検討 臨床経過について問題点を整理して説明できる。 病理診断について肉眼所見と組織所見を整理して説明できる。 症例の病態を臨床情報、病理所見から考察できる。 死因について類推できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	基礎棟第1 講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
11	12月 12日 (月)	1-2 時限	実習	テーマ：実習説明 症例の臨床経過を整理して説明できる。 臨床検査項目とそのデータの意味について説明できる。 患者の入院診療録から臨床上の問題点を列挙できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	5A 実習室
12	12月 12日 (月)	3-6 時限	実習	テーマ：切り出し 臓器の肉眼所見について説明できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	基礎棟 2 階 共用室
13	12月 12日 (月)	7-10 時限	自主学習	テーマ：自主学習 病理解剖の医療における位置づけと法的事項、手続きを説明できる。 医学における病理解剖の学術的重要性を理解する。 疾患の病態や疫学を理解する。 HE 染色の方法を理解する。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	5A 実習室
14	12月 13日 (火)	1-10 時限	実習	テーマ：薄切 組織標本の作製工程および染色方法を説明できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	基礎棟 2 階 染色室
15	12月 14日 (水)	1-4 時限	実習	テーマ：染色 HE 染色の方法を理解する。 組織標本の作製工程および染色方法を説明できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	基礎棟 2 階 染色室
16	12月 14日 (水)	5-10 時限	実習	テーマ：検鏡 臓器の肉眼所見と組織所見の相関を説明できる。 病理解剖症例の標本から病態の把握、疾患の診断ができる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	5A 実習室
17	12月 15日 (木)	1-6 時限	実習	テーマ：実習レポート作成 臨床経過と病理解剖標本を総合して最終的な死因を類推できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	5A 実習室
18	12月 15日 (木)	7-10 時限	自主学習	テーマ：発表準備 臨床経過について問題点を整理して説明できる。 病理診断について肉眼所見と組織所見を整理して説明できる。 症例の病態を臨床情報、病理所見から考察できる。 死因について類推できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	5A 実習室
19	12月 16日 (金)	1-2 時限	自主学習	テーマ：発表準備 臨床経過について問題点を整理して説明できる。 病理診断について肉眼所見と組織所見を整理して説明できる。 症例の病態を臨床情報、病理所見から考察できる。 死因について類推できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	5A 実習室
20	12月 16日 (金)	3-10 時限	全体討議	テーマ：発表-症例検討 臨床経過について問題点を整理して説明できる。 病理診断について肉眼所見と組織所見を整理して説明できる。 症例の病態を臨床情報、病理所見から考察できる。 死因について類推できる。	後藤 明輝 吉田 誠 馬越 通信	基礎棟第 1 講義室